

八戸「こどもはっち」で子育て支援

未来ネット 大臣表彰

若者応援団表彰」で内閣府特命担当大臣表彰を受賞した。平間代表理事ら4人が13日、小林眞市長を訪ね、喜びを語った。

(本田海輝)

八戸市で子育て支援施設「こどもはっち」を運営する同市のNPO法人「はちのへ未来ネット」(平間恵美代表理事)が、国の2015年度の「子供と家族・

地域のリーダー役、高い評価



同表彰は、子どもの育成や子育て家族を支援する活動などで功績があった個人・団体をたたえるため、10

年度から内閣府が実施。本県からの受賞は3例目で、八戸市では初めて。同ネットが受賞した「子育て・家族支援部門」には各都道府県などから33件の推薦があり、3件が内閣総理大臣表彰、15件が内閣府特命担当大臣表彰に選ばれた。

同ネットは親子が希望と安心感を持って暮らせる地域づくりを目指して「こどもはっち」を運営、他団体のけん引的役割を果たしているなどと評価を受けた。

小林市長は「幅広く子どもたち、親の育ちを支えていただきたがたい。今後、も頑張る」と激励。平間代表理事は懇談後の取材に「親子が元気で幸せに暮らせる事業を、さらに広げていきたい」と語った。

同ネットは、03年に市民団体として発足。11年にこどもはっちの運営を市から受託したことを機にNPO法人化し、季節ごとの子ど

小林市長(左)に受賞の喜びを語る平間代表理事(右)

田子の名産品いかが

東京・町アンテナショップ

森県たっこまち」で販売体験を行った。生徒たちは元気に声を上げ、店先を行き交う人々を笑顔で迎えて

手製のチラシを配るなど精力的に活動。ショップに並ぶ商品をPRした。

ことを存分にアピールできれば。言葉のなまりを恥ずかしがらず、笑顔で接客し

湖の水があふれそうな時に開く非常用ゲートで、約80センチの高さに四つ並んでいる。文庫は1933年

列島 北から南から

も向け行事や、親子向けの「付けなど、幅広い活動を展開講習会、子育て相談の受け開いている。



東日本大震災の教訓を伝えるため津波到達箇所沿って植えられた河津桜=13日、岩手県陸前高田市

津波到達点に桜鮮やか

陸前高田 震災教訓次代へ

津波の脅威や東日本大震災の教訓を後世に伝えるよう、岩手県陸前高田市の津波到達箇所沿って植えられた桜が今年も咲いた。か